

| | | | | | |
|----|---------|-----|-------------|------|--------------|
| 地域 | 広島県 広島市 | 認定日 | 平成21年 6月24日 | 通巻番号 | 6 - 21 - 016 |
|----|---------|-----|-------------|------|--------------|

③新たな作目や品種の特徴を活かした需要拡大

広島大学と共同開発した栄養機能食品「カルシウム黒豆」に広島県産黒大豆（光黒大豆）を使用した商品の開発及び販路拡大

地元産黒大豆を用いて骨粗鬆症予防目的の機能性食品としての菓子の開発と販路拡大を行う。

➤ 連携体

農林漁業者 **JA広島中央（農業）**

農地を有効活用することによって現在は栽培実績のない光黒大豆を栽培し、本商品に適したサイズの大豆を安定的に提供する。

中小企業者 **（株）イシカワ（食料品製造業）**

骨粗鬆症予防目的の機能性食品である「カルシウム黒豆」シリーズを開発し、全国の中高齢者層へ販路拡大する。

連携参加者 **広島大学**

摂取し易いカルシウムの開発の技術指導や骨粗鬆症に対する評価実験を支援する。

サポート機関等 **地域活性化支援事務局**

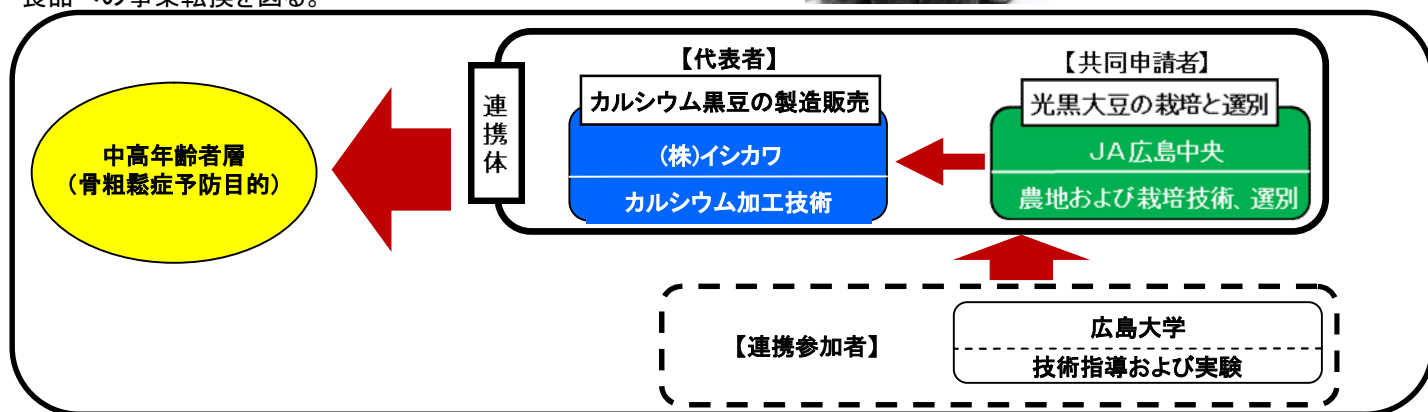
➤ 連携の経緯

嗜好食品から機能性食品への事業展開を図るとともに、地元から主材料となる黒大豆の調達先を探していた（株）イシカワと、白大豆の栽培実績があり米作以外の農産物による農家の収入アップを狙っていたJA広島中央の思惑が合致し、連携に至った。



➤ 連携に当たっての課題や工夫等

光黒大豆の品種は北海道地区の栽培が主で滋賀県以西の栽培実績がなかった。そこで、JA広島中央は白大豆の栽培実績のある農家に栽培を依頼するとともに、営農指導員による栽培指導に取り組む。（株）イシカワは広島大学と共同開発したカルシウム加工技術をもとに商品の開発を行い、利益の薄い嗜好食品から収益性の高い機能性食品への事業転換を図る。



➤ 連携による効果

農林漁業者 **5年で1,000万円の売上高増加、不作付地等20haの有効利用**

農地の活用が図られるだけでなく、米作農家の水田の有効利用による農業経営の安定に貢献すると期待される。

中小企業者 **5年で9,000万円の売上高増加、収益性の改善**

骨粗鬆症予防目的の機能性食品に向けた事業展開を図ることにより売上の増加と収益性の改善が期待される。

➤ 代表企業等の連絡先

企業等名：株式会社イシカワ
TEL：082-285-7861
E-mail：ishikawa@isikawa-net.co.jp

所在地：広島県広島市南区東雲1-16-25
FAX：082-285-7880
ホームページ：http://www.ishikawa-net.co.jp